



# 富士見 まちづくりラボ

FUJIMI TOWN Sustainable Project

富士見で「こんなことやりたい」「こんなことが困ってる」を  
みんなで考え実現する、まちづくりプロジェクトです。

私たちは富士見町の宝や資源を生かし、町民の課題解決につながる商品やサービスづくりを民間団体、商工会（事業者）、行政、町民が一体となって行います。そして地域内で資源と知恵を循環させ、子ども・若者を中心とした町民の学びと育ちを支援する場づくりを進めます。





本冊子は、甲信地域休眠預金等活用コンソーシアムの支援を受けて実施した「富士見・ハケ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト」の事後評価の一環として作成したものである。

# 目次

---

<b>1</b>	富士見まちづくりラボとは	…p3
<b>2</b>	交流の場づくり	
-1.	地域経済循環の学びの場	…p4
-2.	地球温暖化対策の学びの場	…p5
-3.	富士見高校の総合学習プロジェクト	…p7
-3.	協働農園プロジェクト	…p9
-3.	50年の森林ビジョン構想プロジェクト	…p11
<b>3</b>	活躍の場づくり	
-1.	味噌プロジェクト	…p14
-2.	やつリンク	…p16
<b>4</b>	創造の場づくり	
-1.	カフェ&スペースひこうせん	…p18
-2.	こども&ユースフェス	…p20
<b>5</b>	地域エコシステムづくりへ	…p22

# 1 富士見まちづくりラボについて

## 富士見まちづくりラボとは

富士見まちづくりラボは、NPO法人こどもの未来をかنگえる会、富士見町商工会、合同会社きざしの有志により構成されるまちづくり団体である。休眠預金事業「甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム 草の根活動支援助成」を受けて、2021年度から2023年度にかけて、活動を展開してきた。

具体的には、新型コロナウイルス禍の中で地域の資源を活用して環境保全や地域経済や福祉の向上の同時実現（SDGsの達成）を目指して、交流の場、活躍の場、創造の場づくりを行ってきた。



## 3年間の活動の成果

こどもの未来をかنگえる会、富士見町商工会、合同会社きざしの3団体が有するネットワークや経験等を生かして、幅広い住民、事業者の参画を得て、地域の再生可能資源に着目した地域内経済循環や子ども・若者支援の取組を生み出す地域エコシステムを育むことができた。次頁以降でプロジェクト毎に活動概要を紹介する。

### 富士見・ハケ岳山麓における地域循環共生圏構築へ

NPO法人  
こどもの未来をかنگえる会

キレイな山が見える町  
富士見町商工会

合同会社  
きざし

まちづくりラボ  
立ち上げ

食 農 エネルギー 森

人づくり

再生可能資源に着目した地域経済循環の地域エコシステム

## 2 交流の場づくり

### 1. 地域内経済循環の学びの場

*Our purpose*

地域の人・もの・ことをつなげ、循環させ、地域を元気にする

#### 取組の概要・趣旨

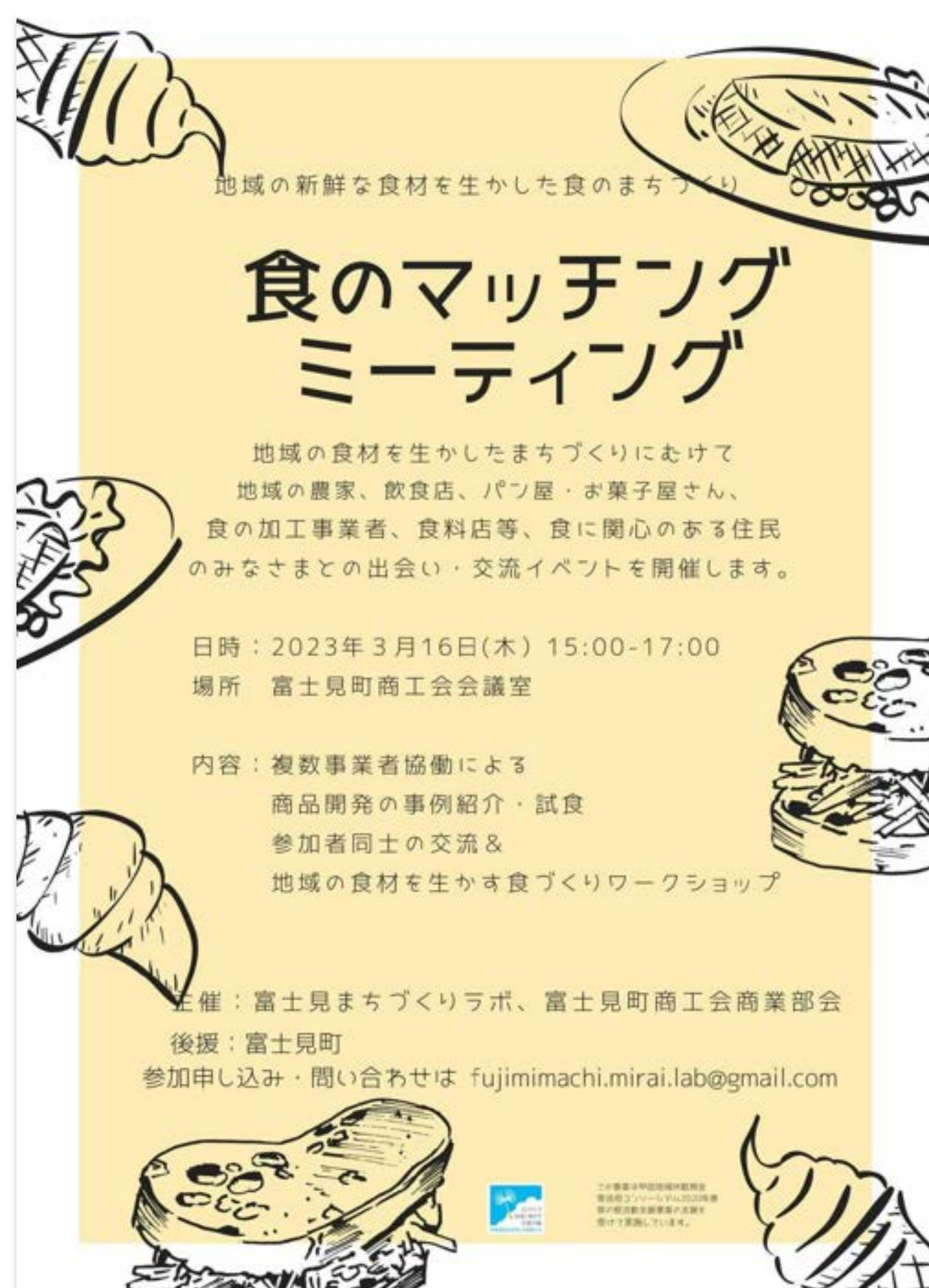
地域内経済循環の学びの場づくりを通じて、プロジェクトを生み出す”リビングラボ”に発展させる契機とする。

#### 取り組み詳細

地域内経済循環を促すため、町内の飲食店等や商工会などでまちづくり勉強会、住民向けの地域通貨の体験ワークショップ、富士見町商工会で地域通貨の勉強会（諏訪信用金庫との共催）などを開催し、地域内の経済循環が必要性についての理解促進を図った。

#### 取組成果・地域の変化

住民向けの地域通貨の体験ワークショップや、地域通貨の勉強会を開催した。新聞等に掲載されたこともあり、役場職員、町議会議員、新聞社記者、小学生もワークショップに参加するなど、大きな関心が寄せられた。商工会では高校魅力化に向けた勉強会の開催や、富士見OKKOH祭、縄文フードイベントにおいて富士見高校の学生との連携が始まった。また、商工会、飲食店、農家、富士見高校の学生、住民など複数事業者による「食のマッチングミーティング」を開催し交流を深めるとともに、地産地消の食の開発に貢献した。



#### 今後に向けて

住民、商工会、役場、高校などステークホルダーの関わりを強化し、地域内地域循環のさらなる活性化を図っていく。



## 2. 地球温暖化対策の学びの場

*Our purpose*

市民参加型の研究によりゼロカーボンのまちづくりへ

### 市民参加型の研究の趣旨

地球温暖化が深刻化し、2050年までのゼロカーボンが求められる中、ハケ岳西南麓では太陽光発電が急速に普及した。一方で地域外資本による無秩序な開発により、地域資源の“略奪”ともいえる状況となり、太陽光発電が「厄介なもの」になってきた。その背景を「富士見まちづくりラボ」のメンバーで調査し、オープン・データと実地踏査から見えてくるものを、2021年から2年間かけ信州大学大学院（内川准教授）と共同で、『市民参加型の研究』としてメンバーでワークショップを重ね分析した。

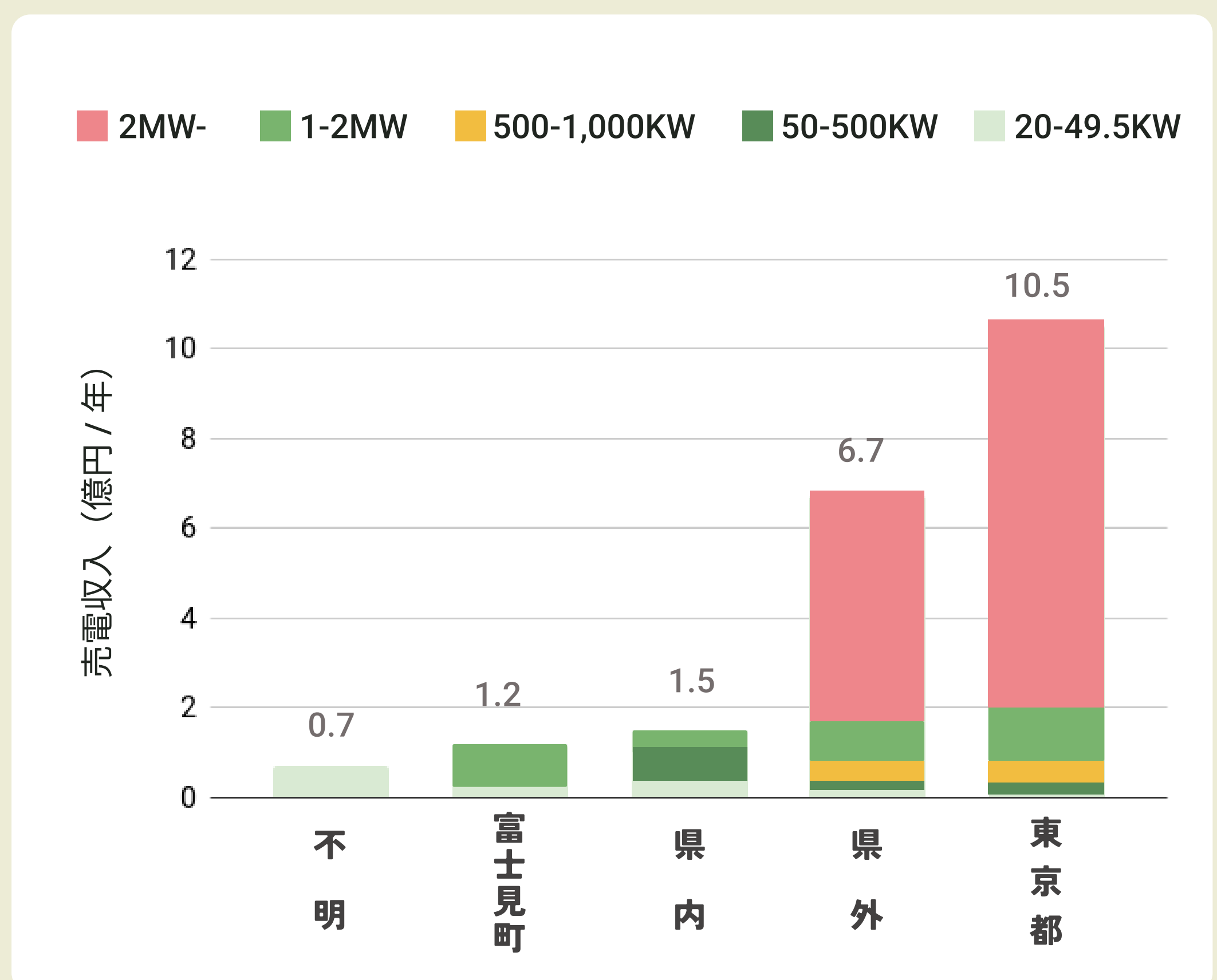
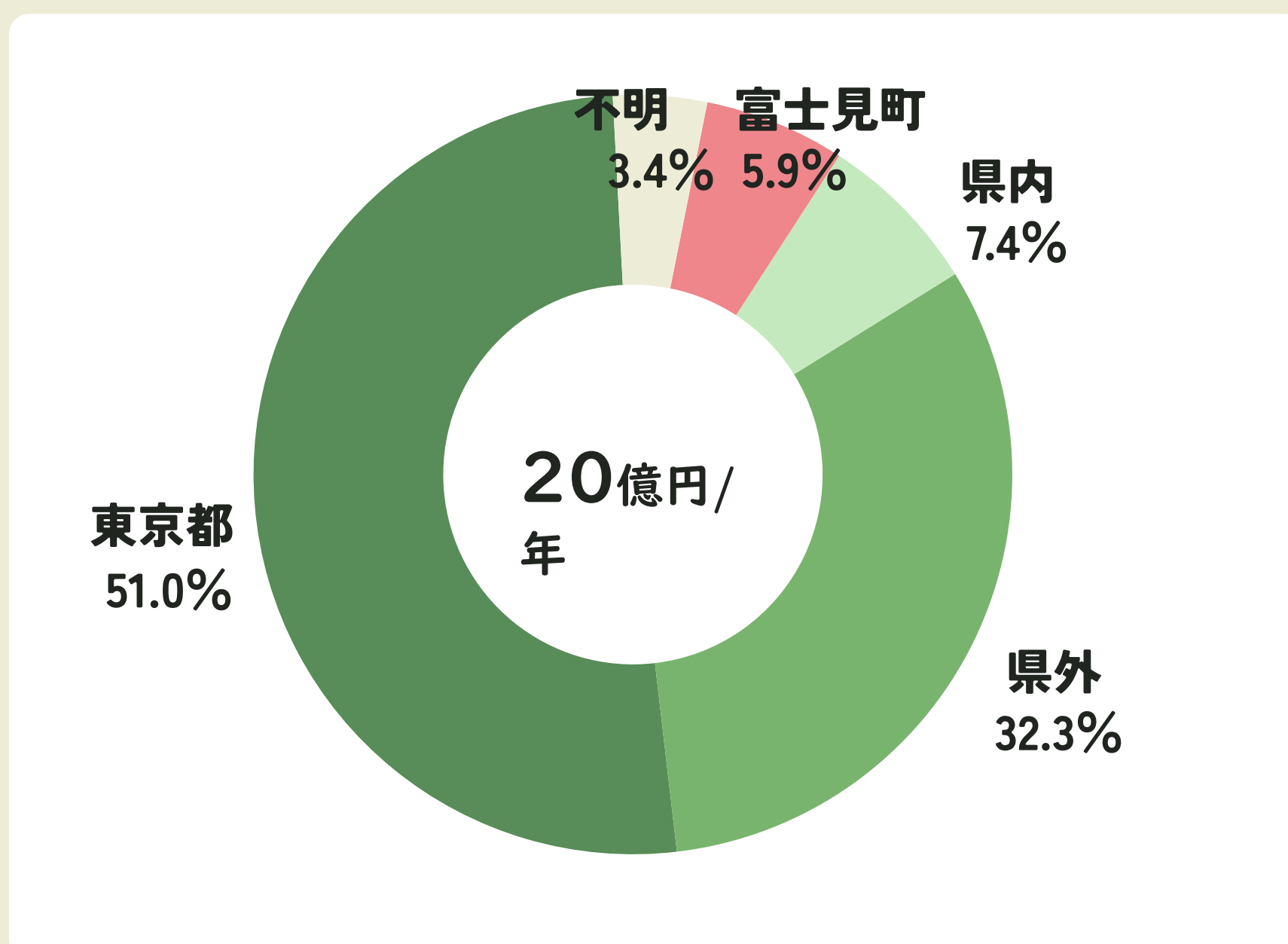
富士見町の太陽光発電の現状の「背景」と「構造」について明らかにするため

- ① 長野県富士見町を対象に、集落形成の歴史的経緯をたどりながら、その所有する財産区の山林地、開発公社土地など一団の土地が残されていた背景とメガソーラー発電所への転換との関係性
- ② 町の電推進施策と施設急増・土地条件と合わせた関係性
- ③ 20kW以上の施設の量（データ分析）と空間的位置（マップ化）及び管理状況等を実地踏査により見える化、住民の懸案事項の整理
- ④ 現在富士見町で導入されている太陽光発電による地域経済効果

の分析を行い、現状及び将来への対応に関して、短期および中長期視点から農村計画学的に考察した。

### 売電収入の行き先

20kw以上、2022年12月31日現在



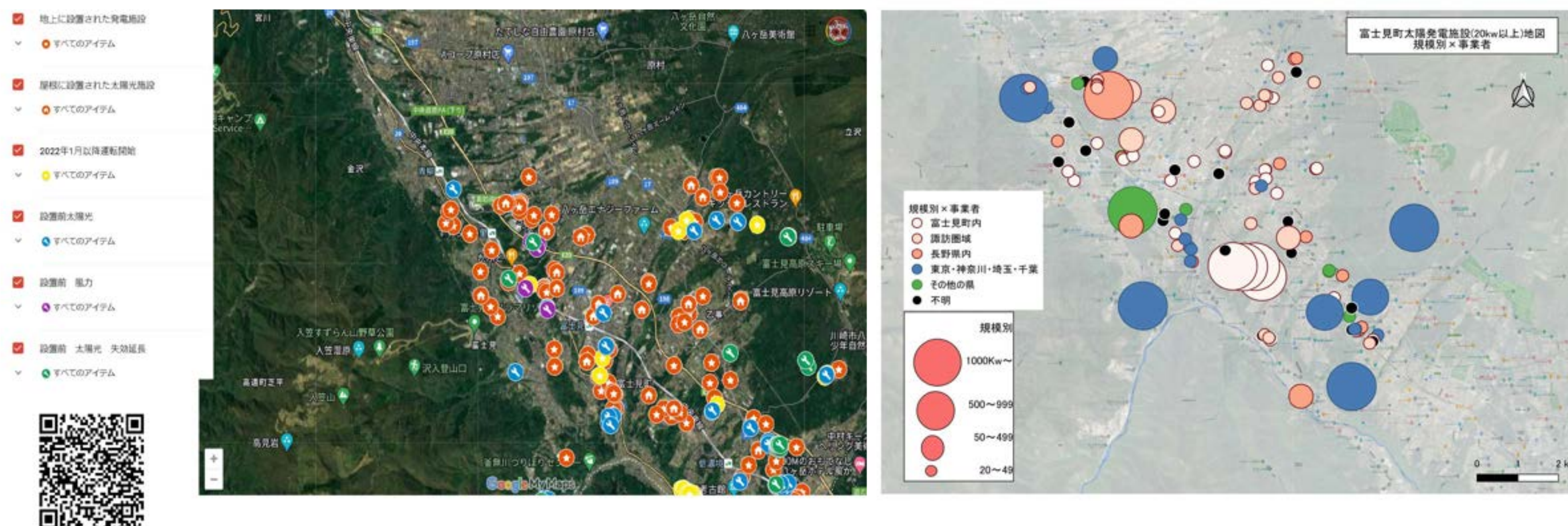
- ✓ 売電収入20億円の94%が町外に流出
- ✓ 富士見町に落ちるのは1.2億円のみで、ほとんどは富士見メガソーラーの0.9億円
- ✓ 富士見町は再エネ供給源であるが、環境負荷に見合った利益を得ていない



## 市民研究の意義と方法について

一般市民にとって行政公表データを閲覧しただけで十分な情報が得られるとは限らない。国のFIT認定の情報を元に踏査情報を含めて加工、分析することで太陽光発電の実態を市民にも分かり易く、有用な「情報」として提供することができた。

富士見まちづくりラボで作成した太陽光発電マップ（QRコードから確認可能）



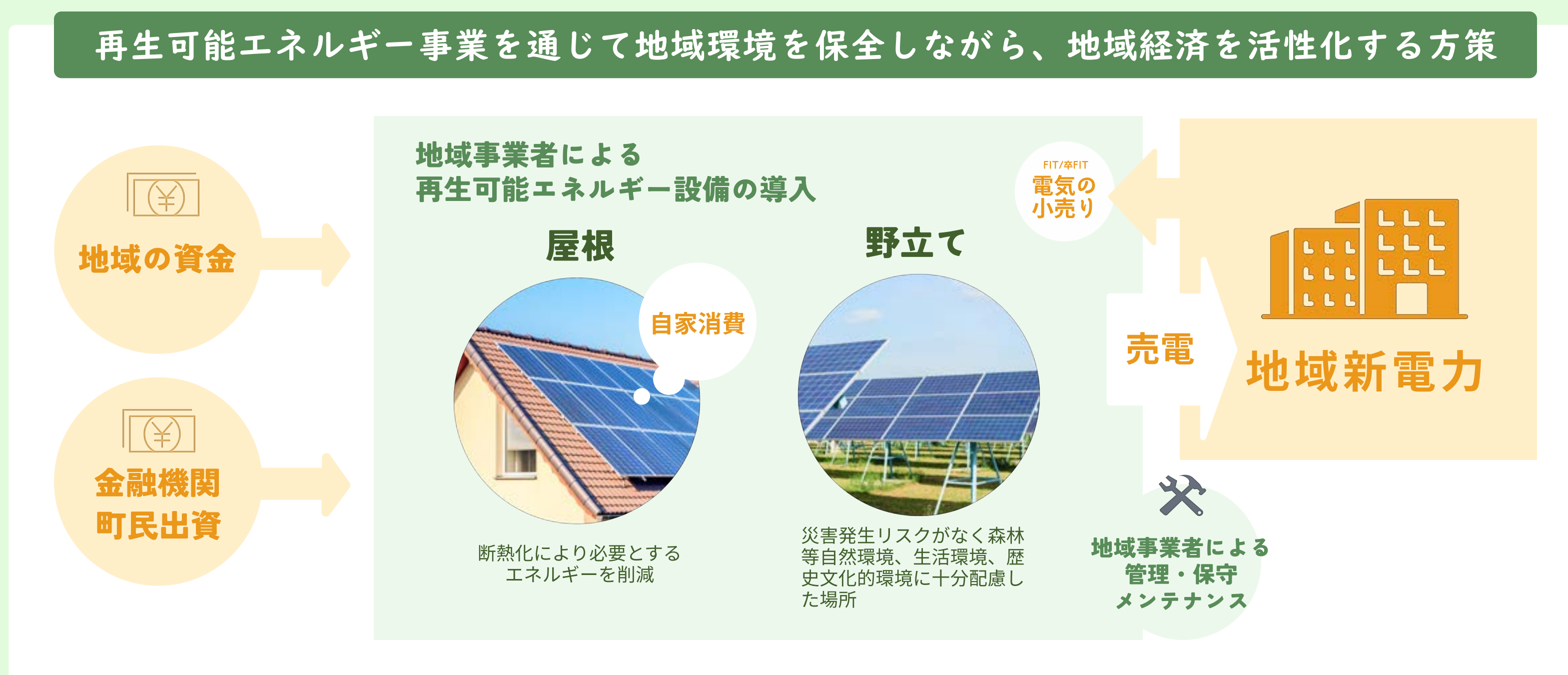
## 地球温暖化対策の学びの場づくりの活動実績

市民研究の成果を以下の形で2023年に広く発信するとともに、持続可能なゼロカーボンの具体的な取組の検討につなげた。

- |     |             |                                  |
|-----|-------------|----------------------------------|
| 第1回 | 2023年2月26日  | ゼロカーボンの社会にむけた総論                  |
| 第2回 | 2023年3月21日  | 現地訪問・地域経済分析                      |
| 第3回 | 2023年6月26日  | 太陽光発電地域マップ分析結果                   |
| 第4回 | 2023年12月21日 | 諏訪地域エネルギー事業化に関する研究会との共催によるPPA勉強会 |

## 今後に向けて

市民研究で分かった実態をもとに、地域のエネルギーが地場産業として適切に建設され、地域内外に供給され、地消される計画が必要だ。屋根ソーラー、蓄電池、EVなどエネルギー自立化と同時に、断熱化等により必要以上にエネルギーを使わない暮らしや産業部門でも一層の省エネルギー化が必要だ。





### 3. 富士見高校の総合学習プロジェクト

*Our purpose*

若者の実践的な学びを通じた農と食の経済循環の環を作る

#### 取組の概要・趣旨

富士見高校普通科1,2年の探究的学習のプログラムづくりを行い、農村の地域資源を生かしたまちづくりのための実践的な学びを行った。

#### 取組詳細

##### 2022年度

1年生

#### 富士見町の農村、農業・里山の課題を学ぶ

- ・ 富士見町の農業政策を学ぶ
- ・ 富士見町の農家訪問
- ・ 竹林整備&竹あかりイベント

1年生が農家へ訪問。農業の課題や魅力を学ぶとともに、竹林整備を行い、竹あかりづくりを行った。井戸尻遺跡で竹あかりを点灯し、全国規模の竹あかりイベントに参加。



##### 2023年度

1・2年生

#### 富士見町の農村、農業・里山の課題を学ぶ

- ・ 富士見町の農業政策を学ぶ
- ・ 富士見町の農家訪問
  - 1、2年生で農家訪問。
  - 規格外の野菜等を活用した食のメニューを考案し、食のマッチングイベントで、飲食店や農家さんに対して食のメニューを提案。
- ・ 食のマッチングイベント
  - 農家訪問の成果をふまえて、高校生が食べたい食のメニューを提案。
  - 高校生が提案した地域産いちごジャムをトッピングしたソフトを道の駅「信州蔦木宿」のイベントで販売。
- ・ 竹林整備・竹あかりづくり
  - 放置竹林の竹を伐採し、その竹を利用して竹あかりを作成。
  - 2年生が1年生に教える、縦割りの学びを実施。
  - 文化祭や縄文ハロウィンで発信







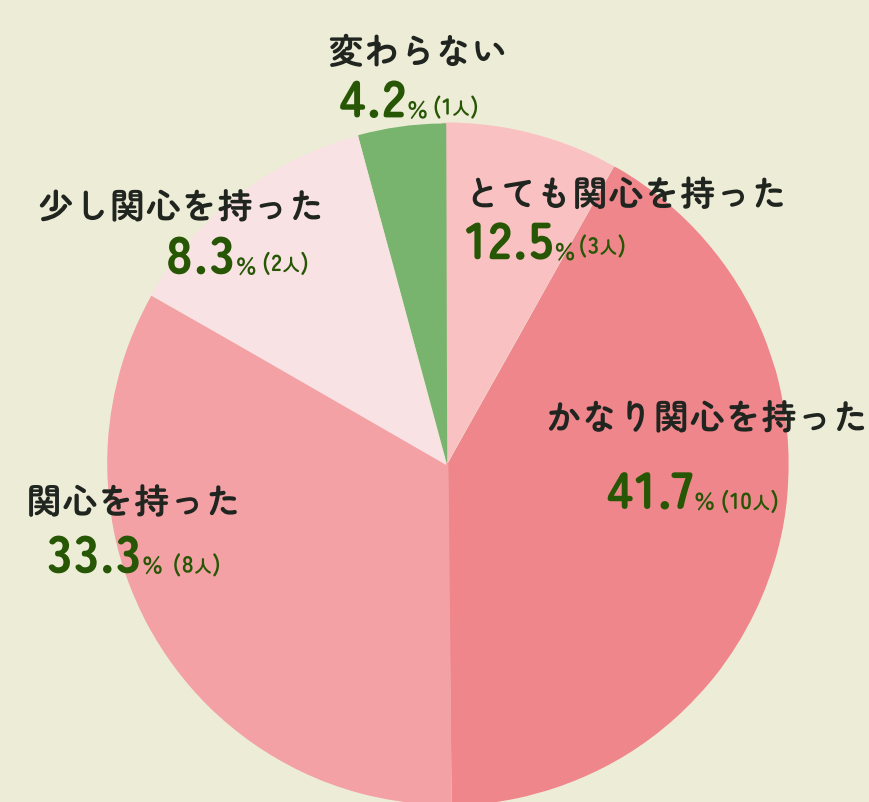
## 取組成果・地域の変化

2年間継続することで、竹林整備を契機に竹の有効活用方策として「日月」を制作し保育園の子供たちと遊ぶなど、高校生が放置竹林の問題を自分毎化し解決の取組を考え、実践するといった成長につながった。

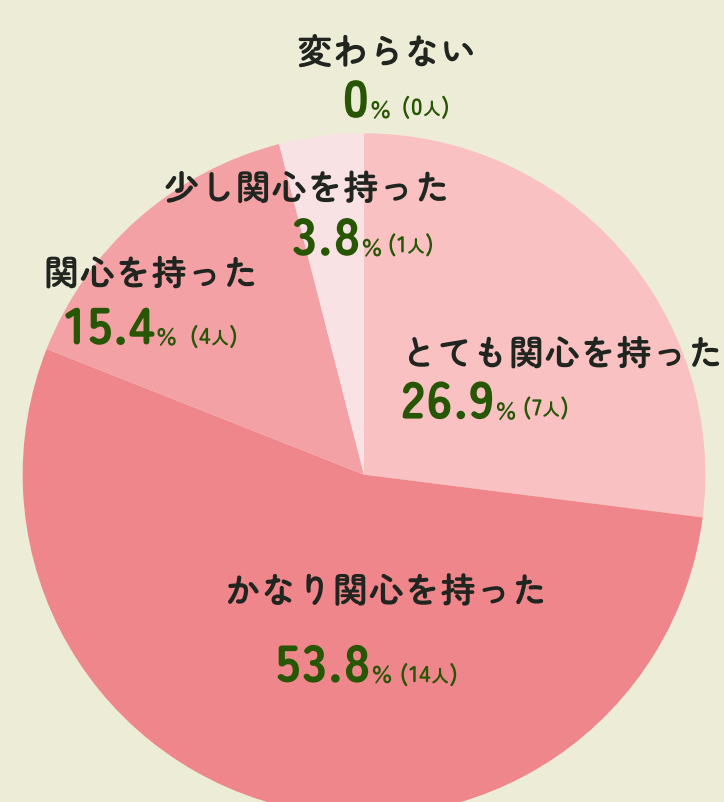


### 高校生へのアンケート結果 (2023年度1-2年生)

総合学習の学びを通じて、地域の課題に関心を持つようになりましたか？



1年生



2年生

農業や農村地域を活性化するために重要なことは？



## 各団体の関わり

### 合同会社きざし

これまで富士見高校とメニュー開発をしてきた関係性を生かし、総合学習のプログラム作りを委託される。2022年度全体事業のコーディネート、食のマッチングに飲食店として積極的に貢献。

### こどもの未来を考える会

2023年度に全体コーディネートを担当。食のマッチングイベントにカフェ・こども食堂の立場で参加。

### 富士見町商工会

竹林整備の現場支援・竹加工のワークショップ支援・竹を用いた富士見駅前の飾りつけて関わる。食のマッチングイベントの飲食店への呼びかけを行う。

## 今後に向けて

富士見まちづくりラボが、高校と地域の関係者をつなげることで、高校生の実践的な学びをサポートしていく予定。高校生が地域社会のつなぎ手となって富士見が更に活性化することを期待。



## 4. 協働農園プロジェクト

*Our purpose*

”プチ農業を普及”し農地の遊休化を防ぐ

### 取組の概要・趣旨

遊休荒廃地が増加する中、新たな農業のあり方を模索するため、有機農家の指導のもと町中居住者や移住者が農作業を担う有機農業の協働農園の仕組みを実証し、新たな農業の担い手と農業の持続可能なビジネスモデルを構築する。

**協働農園**  
2023年度募集

八ヶ岳農園の新しい風景の中で、長野県東上原町の豊かな自然の中で農業と暮らす人々の暮らしを体験してみませんか？

**早川農園**  
20年ほど有機農業をやってきましたが、最近では野菜に少しづつ特化しています。畑で七五三と今年収穫予定。新・位・文やみかんの栽培にも挑戦しています。  
募集：10組（5m×5m/区画）  
場所：富士見町早川

**八ヶ岳はる農園**  
農の喜びを味わいたい初心者100名程度の募集を希望しています。自然の恵みと花や野菜の成長と楽しい思い出が待っています。協働農園に参加するには、パソコンスキルを500円でお付けしています。  
募集：4組（8m×4m/区画）  
場所：富士見町早川

**ほそかわ農園**  
1996年から農業、心労を一切おろさず約50種類の野菜とお米を育てています。また、お味噌、漬物、漬物、えごま油などを作りお給自足の生活を営んでいます。  
募集：7組  
場所：富士見町岩宮

**かぼちゃん農園**  
長野県よりエコファーマー認定を受けており、JAの指導から販売まで一貫した専門農家です。収穫シーズンは6〜10月で、収穫体験ができます。  
募集：4組  
場所：富士見町大平

**協働農園とは？**  
農園さんといっしょに遊休農地になるのを防ぐための農園タイプと、協働農園タイプから選べます。  
1組を通して農業タイプを体験するプログラムです。区画農園タイプ・協働農園タイプから選べます。

区画型 農家さんから1区画を借り好きな野菜栽培にチャレンジ！  
協働型 農家さんと参加者のみんなで一緒に栽培体験！  
富士見町に拠点がありませんが、遠方からの参加も歓迎！

料金：一律15,000円/年（前年度からの継続参加者：13,000円/年）  
運賃別途1000円で貸し出し可能。その他別冊でワークショップあり

お問い合わせ  
富士見まちづくり協働農園プロジェクト事務局  
fujimi.share.farm.2023@gmail.com

**農園スケジュール**

早川農園 八ヶ岳はる農園 ほそかわ農園 かぼちゃん農園

**ワークショップ**  
5・7月 個別講習  
6月ごろ 保育園の給食の玉ねぎ収穫  
8月ごろ 畑でヨガ  
9月ごろ 採蜜ワークショップ  
3・8・11月 漬物ワークショップ

**事前説明会**  
3月5日10時～  
場所：農のオフィスオンライン  
2023年度の協働農園プロジェクト参加の方々のための説明会です。農のオフィス Livingに、期間中4,000円引きでご参加いただけます。  
協力：富士見農のオフィス

お申し込みは必ずこちら！  
お申し込みは必ずこちら！  
お申し込みは必ずこちら！

※写真は2022年度の様子です

### 取組詳細

町内では、山間部の獣害の受けやすい農地や小農地などの耕作放棄地が増加して問題となっている。そんな遊休農地の解消と、農業を始めたい住民や移住者などをつなげ、町の活性化を図った。

具体的には、参加者が割り当てられた畑に自由に野菜を作る区画農園タイプと、農家と参加者が一緒に栽培体験する協働型の農園タイプから選択する。参加者は農家の指導を受けながら野菜を育て収穫を行った。

同時に農的な暮らしを多くの方たちに体験してもらうため、2022年度は「採蜜ワークショップ」「畑でヨガ」「水利を学ぶワークショップ」、2023年度はそれに加え「漬物講習」「草刈講習」「保育園の給食の玉ねぎ収穫」など様々なワークショップも行った。





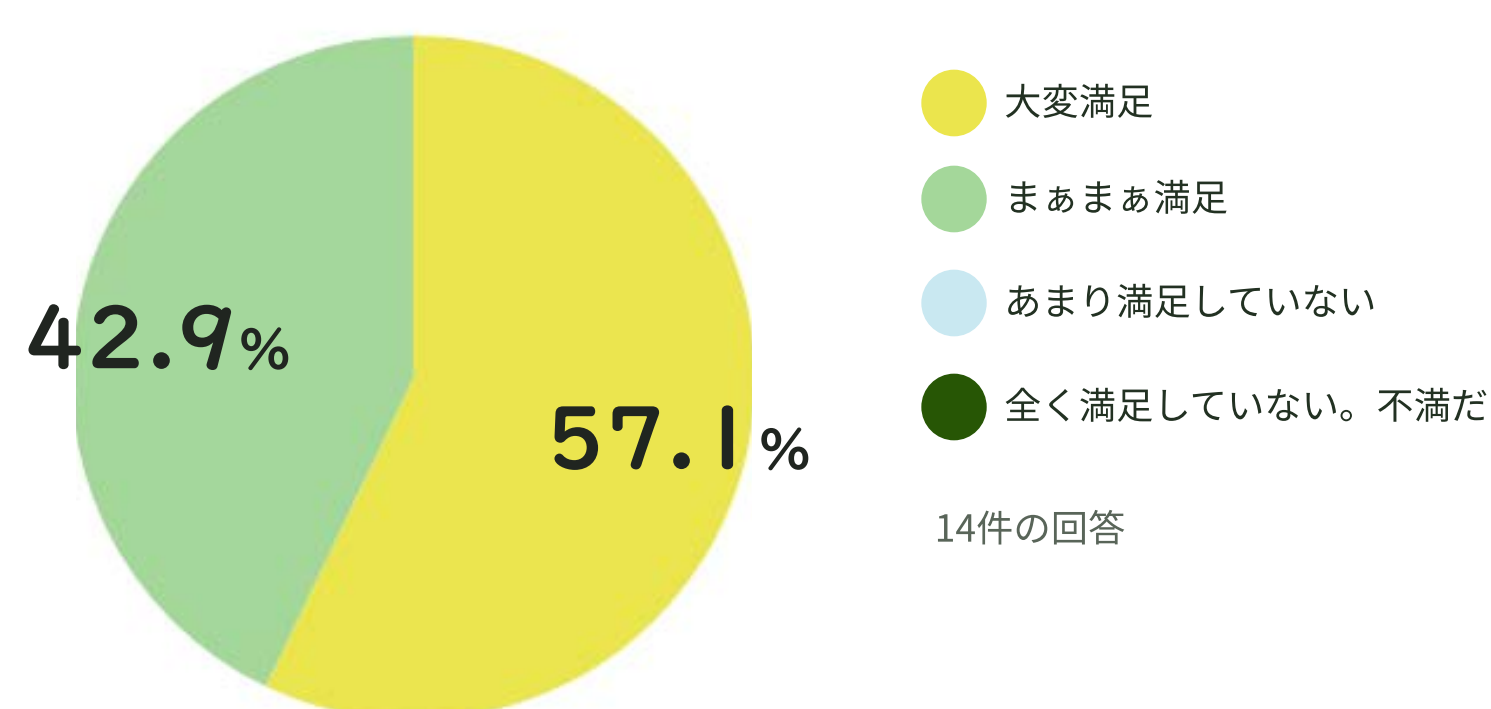
## 取組成果・地域の変化

2022年度は2農園で計17組の参加だったが、2023年度は4農園で計23組の参加と、農家も参加者も増加している。新聞等に掲載されたおかげもあり、町内地元住民のみならず、町外からも協働農園に関心を寄せられ、団体の見学者も訪れた。

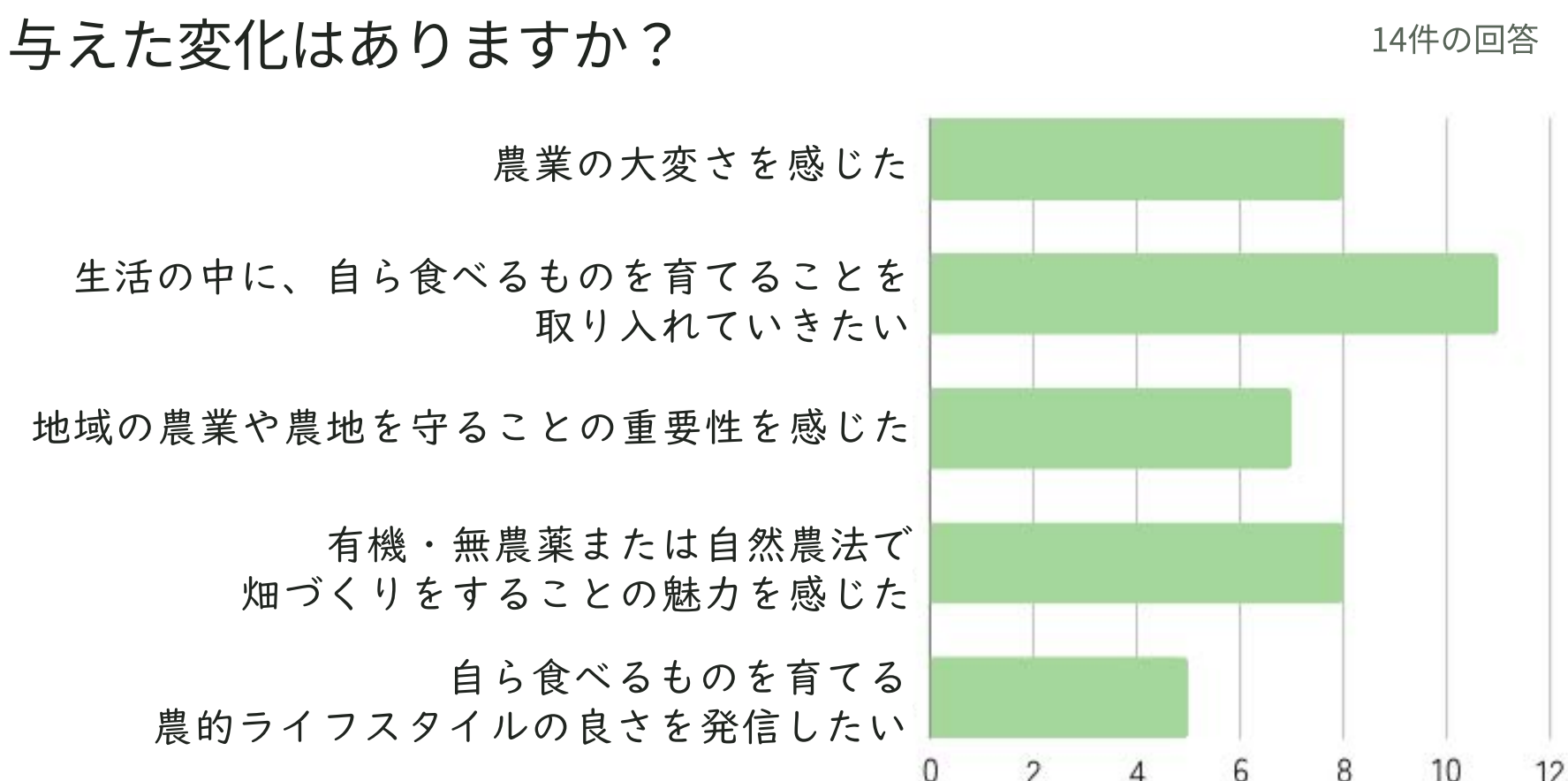


### 2023年度参加者アンケート

プロジェクトに参加してみたの満足度について教えてください。



参加後、あなたの考えやライフスタイルに与えた変化はありますか？



### アンケートのコメントより

- 農業初心者に感心を持って貰う事は凄く大切な取り組みかと思えます。しかしながら、理想と現実の厳しさを教えてあげる事が必要かと思えました。（理論的に優しく。）例えばですが、植え込み、収穫は楽しいが、途中の草取り草刈り、追肥、中耕等の年間管理な事を、農業初心者さん達に指導、体験して貰う事が今後の発展に繋がるかと思えます。
- この度は企画&運営ありがとうございました。初めての畑づくりでしたが、まずやってみることで学べたことが沢山ありました。いつもアットホームに迎えてくださる農家さんに感謝です。

### 今後に向けて

- ✓ ホストとなる農園を増やし、参加者との交流を通して農村集落のさらなる活性化を図りたい。
- ✓ 新たな農業の担い手の育成にもつながりたい。



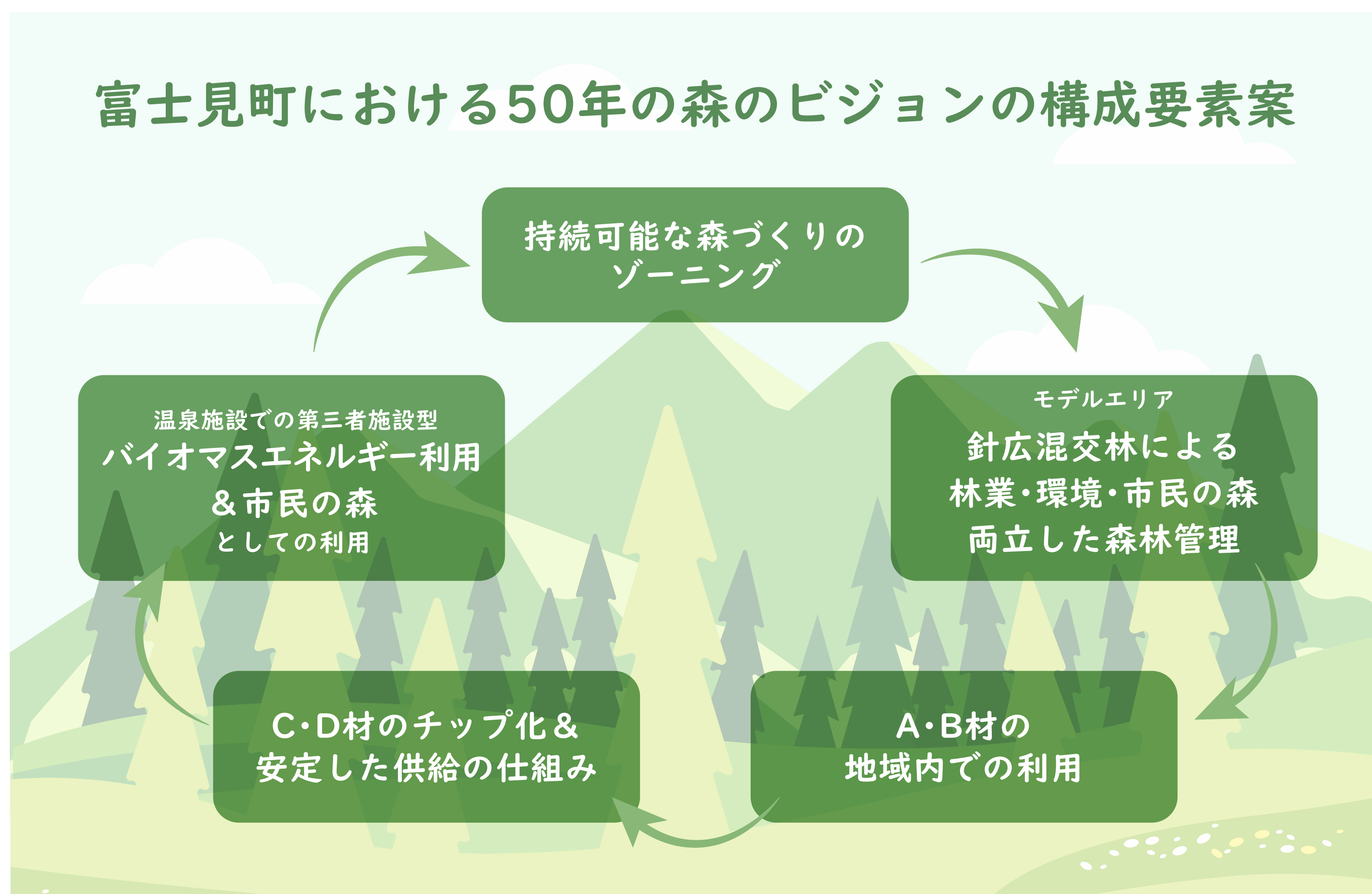
## 5. 50年の森林ビジョン構想プロジェクト

### 取組の概要・趣旨

森林環境を取り巻く情勢は極めて厳しく、持続可能な森林づくりを進めるためには、森林の将来像を示し、総合的・計画的に施策を展開していく必要がある。水資源や土壌、生物多様性の保全、レクリエーション空間の提供、地球温暖化の防止など、多面にわたる機能を発揮する森林資源を循環的に利用し、かつ適切な育成や保存をするために、町、町民・NPO・ボランティア、教育機関、観光事業者・その他企業、林産物活用事業者、森林組合・林業事業者、森林所有者等のあらゆる人が、それぞれの立場から連携することを目指し、町民主体のワークグループを立ち上げ、連携の基盤づくりやビジョン策定に向けた機運づくりを行う。

Theme

富士見町の宝である森・富士見町においてどのような森づくりをしていくか





## 取組詳細

2022年12月から2023年3月にかけて、町内の林業事業者、林産物活用事業者など20社ほどにそれぞれヒアリングを重ね、どのような視点で森林づくりに向き合っているかを聞き取り調査をした。事業者によって考え方も異なり、横のつながりを持つきっかけもなかったことから、森林ビジョン策定に向けた勉強会を、これまでに計6回開催した。

- ・ 第1回 2023年3月28日 森林ビジョン構想検討、意見交換会
- ・ 第2回 2023年5月13日 小林木材製材所ツアー
- ・ 第3回 2023年7月31日 バイオマスエネルギー勉強会（講師：(株)東急リゾート&ステイ 徳田圭太氏）
- ・ 第4回 2023年9月21日 スイス・伊那市の市民の森勉強会、街中の里山プロジェクト提案
- ・ 第5回 2023年10月19日 森の整備のビジョンに係る勉強会+町内企業の活動紹介  
（講師：(株)古川地域の総合研究所代表 古川大輔氏）
- ・ 第6回 2024年1月11日 東急蓼科リゾートバイオマスエネルギー見学会



### 富士見町50年の森林ビジョンづくりに向けた意見交換会 第1回

富士見町・八ヶ岳山麓の宝である森林の多くが管理が行き届かず、人と森の距離も遠くなっています。

自然環境豊かな森づくりをしながら、材やエネルギーとして地域内外で活用することで、地域の森林・建築・も木工・森林サービス産業等のビジネスの発展を促し、私たちの暮らしをより豊かにできる可能性があります。

主催：富士見まちづくりラボ  
後援：富士見町役場産業課

Project



**開催日時**  
2023年3月28日（火）15:30 - 17:30  
会場：富士見町 若宮風月庵（参加無料）  
参加申込：fujimimachi.mirai.lab@gmail.com



※駐車場は若宮公民館をご利用ください

**開催スケジュール**

- ・ 森林整備、材としての利用の現状と課題  
富士見町役場産業課 農林保係長 和田勝利氏
- ・ 「土佐本山コンパクトフォレスト構想」にみる森林ビジョン  
フォレストーズ合同会社 代表社員 小森嵐樹氏
- ・ 持続可能な森づくりと地域内経済循環に向けて  
富士見まちづくりラボ
- ・ 自己紹介（事業者の場合は取組紹介）をいただき今後の進め方についての意見交換

### 製材所の現場から富士見町の50年の森のビジョンを考える 小林木材訪問ツアー

小林木材株式会社は、素晴らしい木目と奥深い艶やかさが魅力のカラマツ専門の製材メーカー、主力商品は、加工板、梁桁用の平角、柱角。手間をかけて曲がらない芯去りを挽かれています。カラマツ製材の現場から持続可能な森づくりや森林資源を生かした地域経済循環について考えます。

日時：令和5年6月13日（火）  
時間：13:30-15:00  
場所：小林木材株式会社  
住所：長野県小県郡長和町和田4336-1  
参加費：無料

当日は小林木材株式会社現地集合でお願いいたします。  
参加申し込みは、6月11日（日）までに  
fujimimachi.mirai.lab@gmail.com にお問い合わせください。





まちづくりラボ  
未来をかんがえる会、富士見町商工  
ときざしのメンバーによるコンソーシウム





## 取組成果・地域の変化

第1回の森林ビジョン構想検討、意見交換会には40名ほどの参加者が集まり、また6回の勉強会を通じ、森に関する事業者、市民の連携の基盤づくりをすることができた。

第5回の勉強会後には「街中の里山利用方策についての提案」をとりまとめ、役場へ提案。

バイオマスエネルギーから富士見町の50年の森のビジョンを考える

第3回意見交換会  
「バイオマスエネルギー」

日時 2023年7月31日(月) 13:30-15:30  
場所 富士見町商工会大会議室  
講師：東急リゾート&ステイ株式会社  
地域創造統括部 徳田 圭太 氏  
「東急リゾートタウン蓼科における森林管理  
&バイオマスエネルギー利用の実践とその魅力」

東急リゾートタウン蓼科では「もりぐらし」という名のコンセプトの下、リゾート内での間伐材を利用した地産地消型のバイオマス熱利用を実践されています。「もりぐらし」及びバイオマス事業の具体的な仕組みや経済性などについて詳細を伺います。森林を保全しながらゼロカーボンの地域づくりを目指す企業の実践から富士見町での今後の取組の可能性について意見交換を行います。

Save The Forest

主催：富士見まちづくりラボ  
参加申し込みは、fujimimachi.mirai.lab@gmail.com まで

富士見町の50年の森のビジョンを考える  
第5回勉強会

全国で“森づくり”を通じた地域ブランド・地方創生に関わってこられた古川大輔氏を講師にお招きし、富士見町・八ヶ岳山麓を豊かにする森林ビジョンづくりの進め方&森があるからこそ実現できる多様な仕事について学びます。また、町内で森を豊かにする仕事をしている方々の取り組み紹介を通じ、森とつながる人々の交流とネットワークづくりを行います

日時：2023年10月19日 14:00-17:00  
場所：とちのきえんがわ

パート1  
講演：「100年の森林ビジョン、100の仕事  
～リアリティとオリジナリティを～」

講師：古川 大輔  
(株)古川ちいきの総合研究所代表  
地域ブランド創造を切り口に、地方創生、森林再生に携わる。市町村に対し森林ビジョン策定、移住定住支援、6次産業化などを全国で展開。全国の林業・木材業。地域づくりに関わる

パート2  
リレートーク&交流会：富士見町で森に関わるお仕事  
をされている方々のリレートーク

主催 ふじみまちづくりラボ  
(こどもの未来をかんがえる会、富士見町商工会、合同会社  
きざしの有志によるコンソーシアム組織)

## 今後に向けて

共感を持ってくれる町民を増やし、森林資源の利用と保全に向けた推進協議会の発足を目指し、議論を深めたい。

# 3 活躍の場づくり

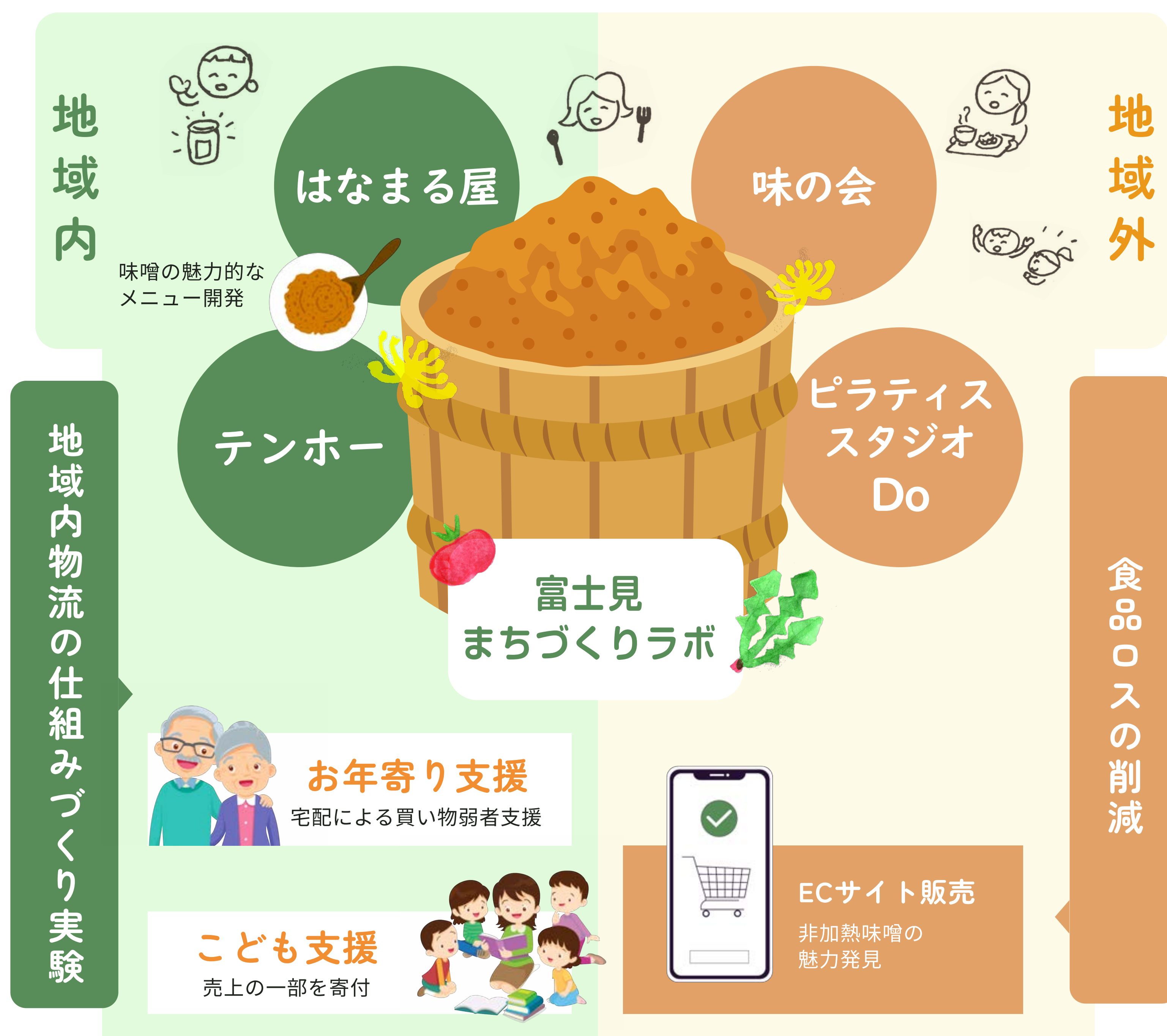
## 1. 味噌プロジェクト

*Our purpose*

食から始まる地域経済循環のエコシステムづくりへ

### 取組の概要・趣旨

富士見町での地産地消の課題を明らかにするため、関係者にヒアリングを実施。そこで把握した課題解決のためのプロジェクトを立ち上げ食を通じた地域経済循環の環を作る。



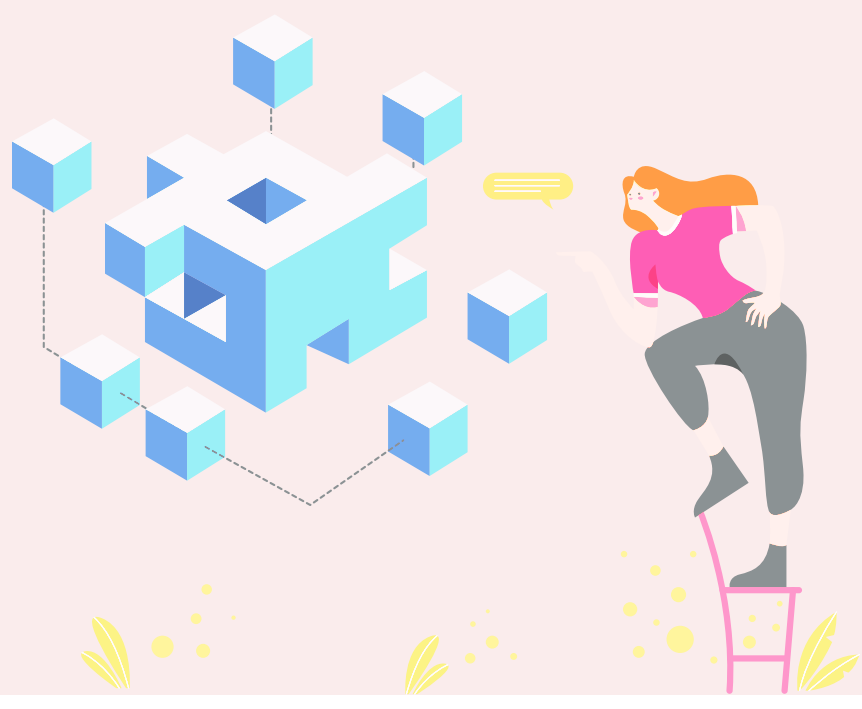
### 取組詳細

富士見町の農村女性を中心に構成される「富士見町味の会」では、減農薬で栽培した大豆で手作りの味噌を作り、販売。2021年秋、新型コロナウイルス感染症の影響で、2トンの味噌が売れ残る可能性。

富士見まちづくりラボメンバーで知恵を絞り

1. 「はなまる屋」に声をかけて、味噌の宅配を実践。  
⇒ 買い物に行きづらいお年寄り支援、売上の一部を子ども支援に寄付
2. テンホーと連携して「旨辛味噌タンメン」のメニュー化
3. ピラティススタジオと連携してECサイト「つくつく」での販売

に取り組んだところ、あっという間に完売することができた。



## 取組成果・地域の変化

生産者に加え、地域の多様な関係者が手を組んで販売支援をすることで、富士見の特産品の魅力を地域内外の人たちに発信でき、ECサイトでの販売を通じ、味の会の「非加熱」の味噌の価値を再発見できた。

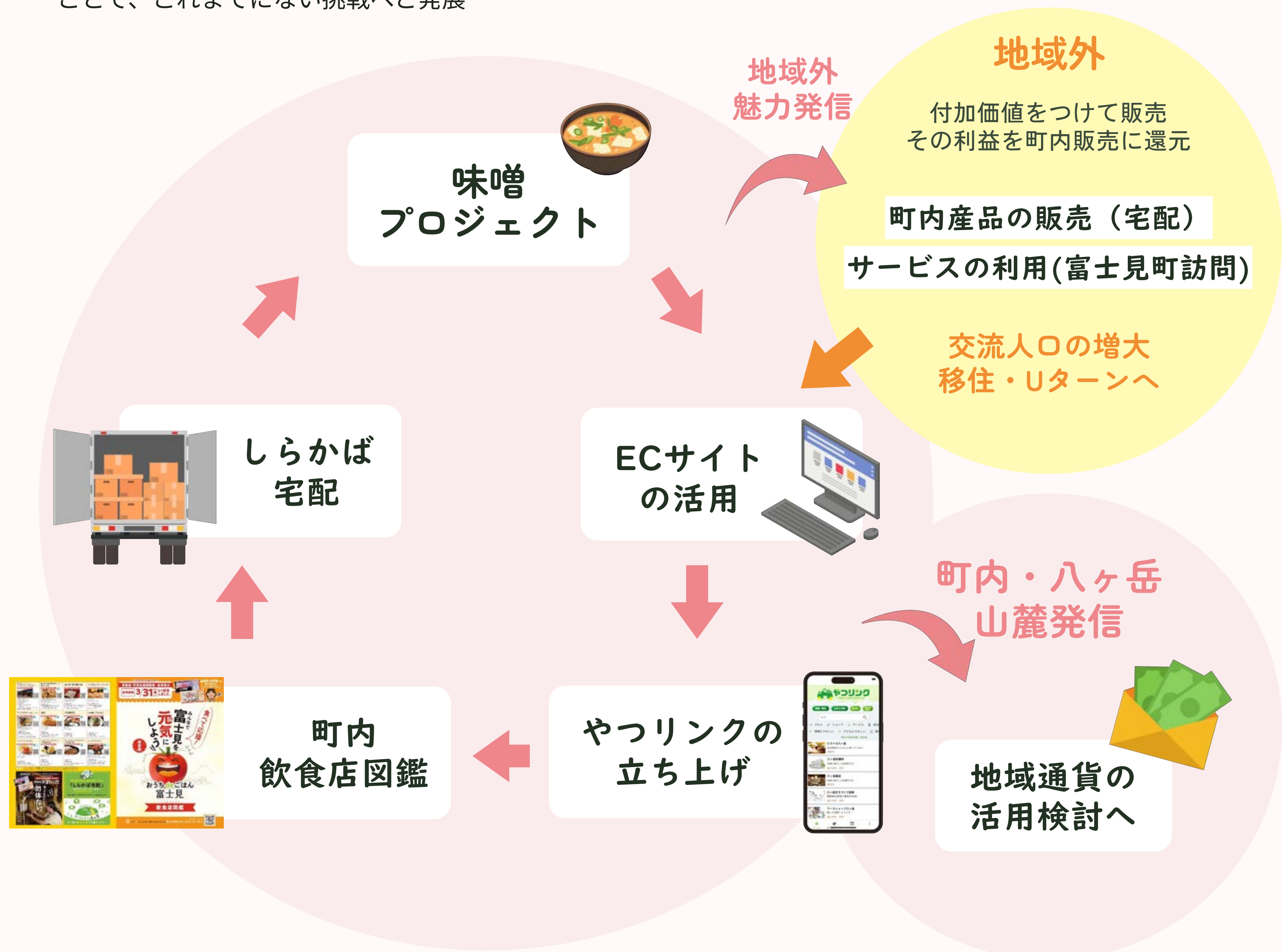
本プロジェクトでの「はなまる屋」との連携が契機となり、富士見町商工会とはなまる屋との連携により「しらかば宅配」事業、商工会での飲食店図鑑での飲食店支援、合同会社きざしでは「つくつく」に富士見の特産品を販売する「ハケ岳ステーション」の出店へ。

同種の地域の事業者間連携をうながすツールとして、「やつリンク」の開発につながる。

富士見まちづくりラボによる連携体制により

## 地域内経済循環を生み出した地域エコシステム

味噌プロジェクトに始まった地域経済循環の環が、次々に新たなプロジェクトを生み出し、地域外ともつながることで、これまでにない挑戦へと発展







## 2. やつリンク

*Our purpose*

### 地域内経済循環を促す地域発のアプリの立ち上げ

#### 取組の概要・趣旨

富士見町・諏訪、ハケ岳山麓のひと・もの・ことをつなげ、SDGsのまちづくりを進めるツールとして、ウェブアプリ「やつリンク」( <https://yatsulink.org> )を立ち上げた。

#### 取り組み詳細

「やつリンク」では、お店、事業者、まちづくり団体等がスマホで気軽に活動やイベント情報を登録・発信。SDGsに関する取組も発信できる。その情報をやつリンクLINE公式アカウントにより多くの方にタイムリーに発信できる。

ノーコードを活用して手作りアプリ開発を行い、富士見町商工会等の協力を得て、幅広い地域の事業者等に働きかけ、店舗登録を進めた。

公式ラインにより、新規登録店舗やイベント情報を幅広く発信することで、店舗やイベントの集客に大きく貢献。立ち上げから1年半の期間で、登録店舗184店舗/公式ライン友達数1237人(2024年3月末)となり地域情報発信アプリとして定着。

シモトの「いま」を知りたい。伝えたい。

# やつリンク

SDGs ハケ岳つながりマップ

掲載者/登録ももちろん無料

利用者/DLダウンロード不要

SDGsを冠しています!

広場でイベントを開催します!

お子様連れ歓迎のお店です!

一緒に働く仲間を募集します!

Webアプリに簡単アクセス! 公式LINEの登録がおすすめ!

ダウンロード不要 Webアプリ <http://yatsulink.org>

LINE 公式アカウント 友達登録募集中!

富士見まちづくりラボ こどもの未来を考える会、商工会、商同会社並びの有志により構成されるまちづくり団体です。 070-8935-7803 support@yatsulink.com

## やつリンクってなにができるの?

POINT 01 地域密着情報がいつでも見れる  
お店・事業者・団体が情報を発信してくれる!

POINT 02 「ひとと地球にやさしい」SDGsへの取り組みを紹介!

POINT 03 暮らしに寄りそふマップ検索  
登録店舗をGoogleMapで探せる!

POINT 04 あなたも発信してみよう!  
事業登録が誰でも可能!

環境にやさしい 環境への配慮・工夫をしている

障がい者にやさしい 障がい者や高齢者など皆が安心して利用できる

子どもにやさしい こども・赤ちゃんづれで楽しめる

量り売り ゴミやフードロス削減へ

新メニューができました! お子様連れ・車椅子歓迎  
メニュー/テイクアウト情報/営業情報など

こんな人募集しています チャリティーイベントやります!  
製品/サービス/求人情報などを発信

イベント告知・参加者募集 メンバー募集中!  
イベント情報/活動報告など

住所 富士見町有台  
電話番号 あり Eメール  
電話番号 090-0909-0909  
営業時間 9:00-16:00  
休日 日・夜  
URL <https://yatsulink.org>

～SDGsにつながる取り組み～  
環境にやさしい環境、ハケ岳山麓で地産地消したお菓子の製造、販売、回収やアルミ缶のリサイクル。

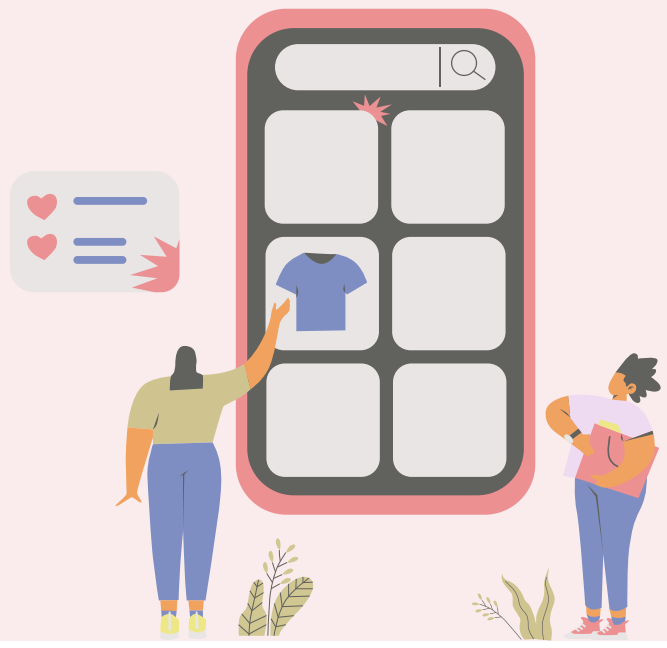
子供の参加できるワークショップの開催  
子育て支援・キッズスペースがあります

障がい者お母さんの方がいいと感動しています。

車や自転車の移動などをサポートのサービス

お店・事業者・団体などであれば、情報の掲載やイベント・お知らせの発信が無料でできます。クーポン発行や広告掲載も可能です。(一部有料)

事業登録詳細



## 取組成果・地域の変化

定期的にイベント掲載が各団体から行われるようになり、地域の団体と市民とをつなげる情報発信サイトとして定着。

やつリンクの活動の成果として、例えば、A社は人手不足の中、やつリンクを通じて人材募集を行い、円滑に業務を遂行できた、B社は大量に生じた規格外の商品をやつリンクを通じて必要な方に無償配布でき、商品の有効活用と廃棄物処理コストを削減 という形で地域の課題解決につながった。

アプリ開発の経験を生かして、アプリ教室を開催し、ITを生かしたまちづくり活動を進めている。

詳細は <https://yatsulink.com/> をチェック！

いこいの場  
リラックス

2024/  
**1/28** 日  
10:30~12:00

第4週  
日曜日に開催

カフェ&スペースひこうせん

ノーコードで作るアプリ教室&  
学びの広場

初心者向けのアプリ教室を開催。  
子ども、大人どなたも歓迎。  
教員免許を持つスタッフが  
子どもの多様な学びをお手伝い  
参加費 2000円

申し込み: [support@yatsulink.com](mailto:support@yatsulink.com) LINE公式

主催: 富士見まちづくりラボ・やつリンク事務局  
協力: NPO法人こどもの未来をかんがえる会  
後援: 富士見町教育委員会



# 4 創造の場づくり

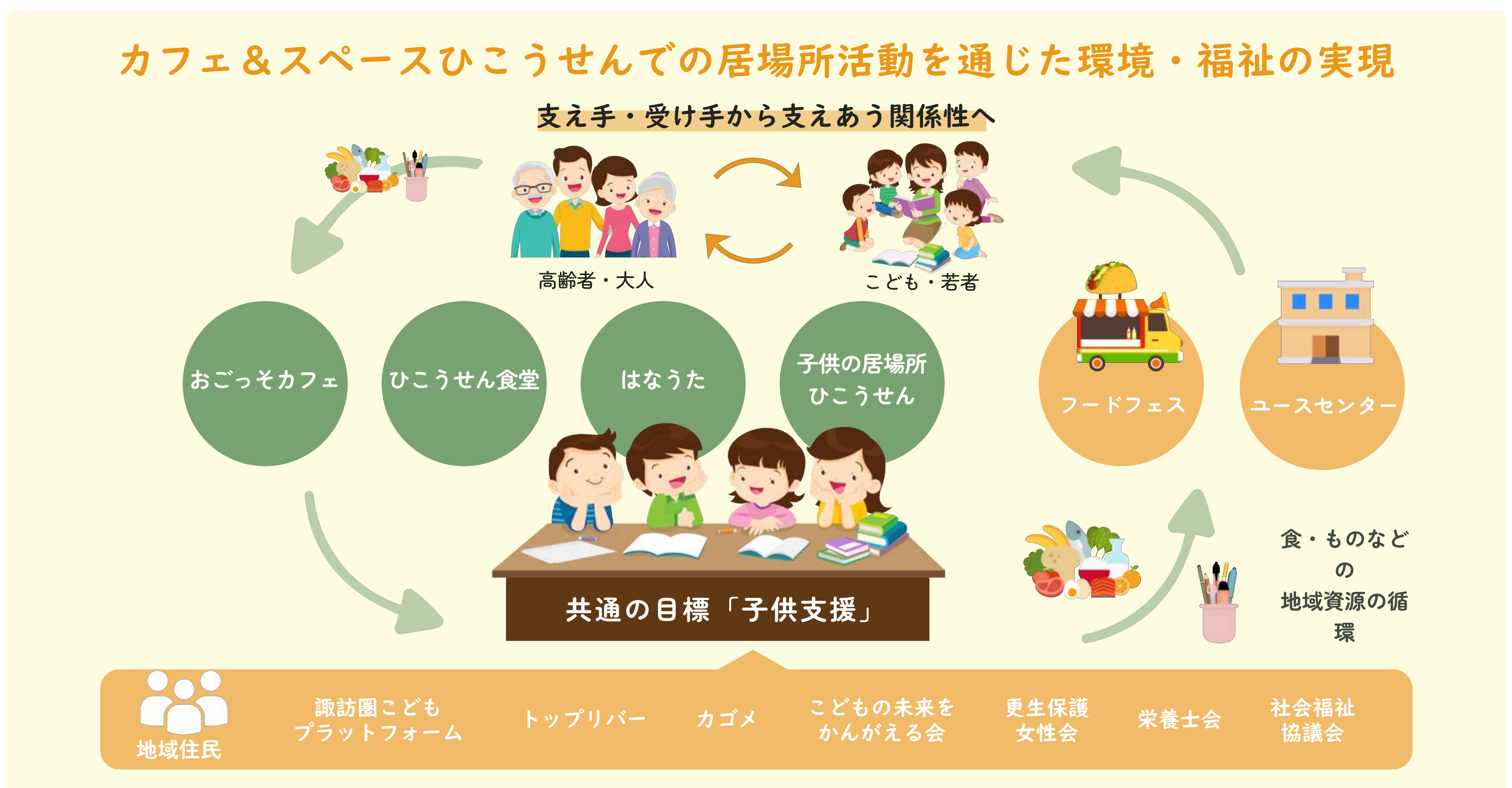
## 1. カフェ&スペースひこうせん

*Our purpose*

多世代の居場所づくり & こどもが真ん中のまちづくり

### 取組の概要・趣旨

こどもの未来をかんがえる会は、こどもたちの自己肯定感を高め、多様な学びと成長を促す多世代の居場所づくりを実践。



### 取組詳細

信濃境駅前のカフェ&スペースひこうせんでは、昼間はシェアカフェとしてカフェ営業、午後は、放課後の居場所「ひこうせん」「アトリエはなうた」「ひこうせん食堂」を開催。

- ・「ひこうせん」ではスタッフが温かく見守る中で子どもたちが自分らしく過ごし、自己肯定感を高めることができる居場所づくりを目指す。
- ・「アトリエはなうた」では、①主体的につくる力 ②こころの声を聴く力 ③ありのままに楽しく生きる力を育むアートセラピー活動を実践。
- ・「ひこうせん食堂」では、地域から寄付された食材を用いて“ばばーず”が心のこもった手づくり料理を地域の親子に100食提供。

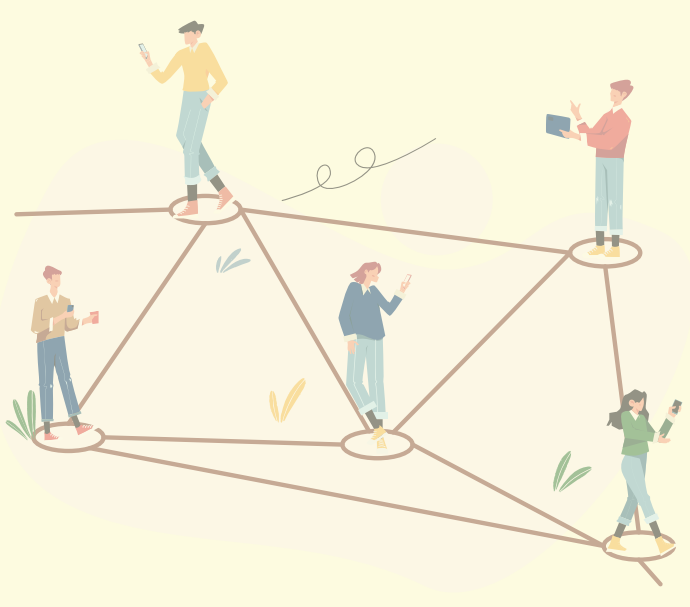
instagramで発信中！

カフェ&スペース  
ひこうせん



ふじみ  
ユースセンター準備室





## 取組成果・地域の変化

- ・アトリエDEF、サムディ等と連携して竹プランターづくり
  - ・自然学校やっほーと連携した野外での創造的な学び
  - ・富士見高原リゾートでのユニバーサルツーリズムの学び
  - ・清泉荘で地域の高齢者とともにボッチャイベント
- など、地域団体と連携し、地域課題解決にもつながる学びも実践。



こども達は、ひこうせんという地域の空間で、多様な大人たちと交流することで、自発的にひこうせん食堂を手伝うなど社会参加にもつながっている。ひこうせんに来てくれていたこどもたちの提案で、こどもお菓子レストランの開催も実現。

ひこうせんの居場所活動は、こどもから大人、高齢者など多世代の居場所に発展し、2024年4月からは認知症の方とその家族の方の居場所「おごっそカフェ」を開始。

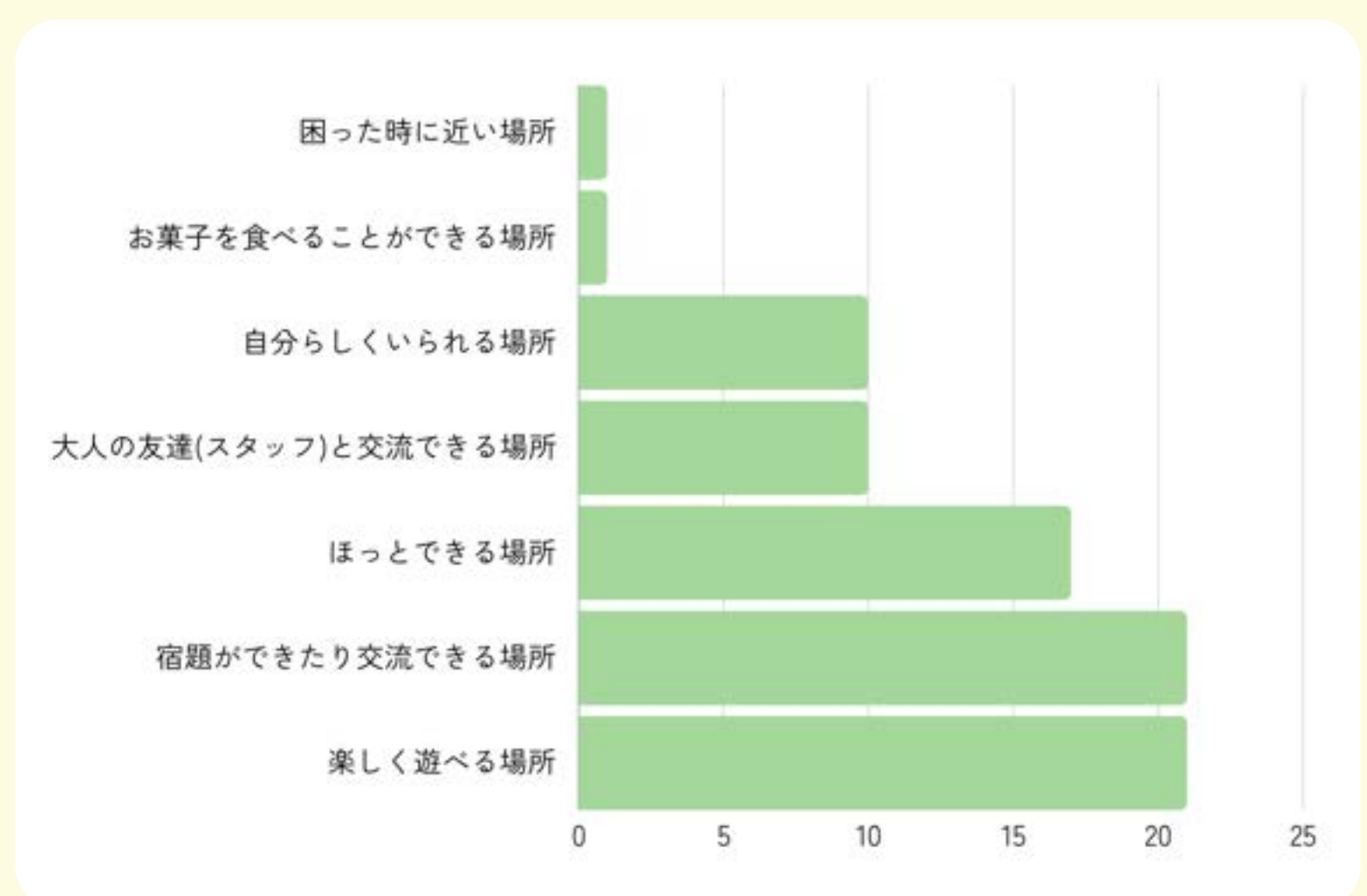
また、富士見町においては中高生等が気軽に立ち寄ることのできる居場所がない状況にある。そこで富士見駅前の「福寿屋」の奥のマルイチ食品センターの跡地に10代の秘密基地「ユースセンター」を立ち上げる。

ユースセンターは、若者が自分らしく過ごすことのできる居場所であり、さらに地域の多様な大人と出会い、地域活動に関わっていく契機とすることを目指している。

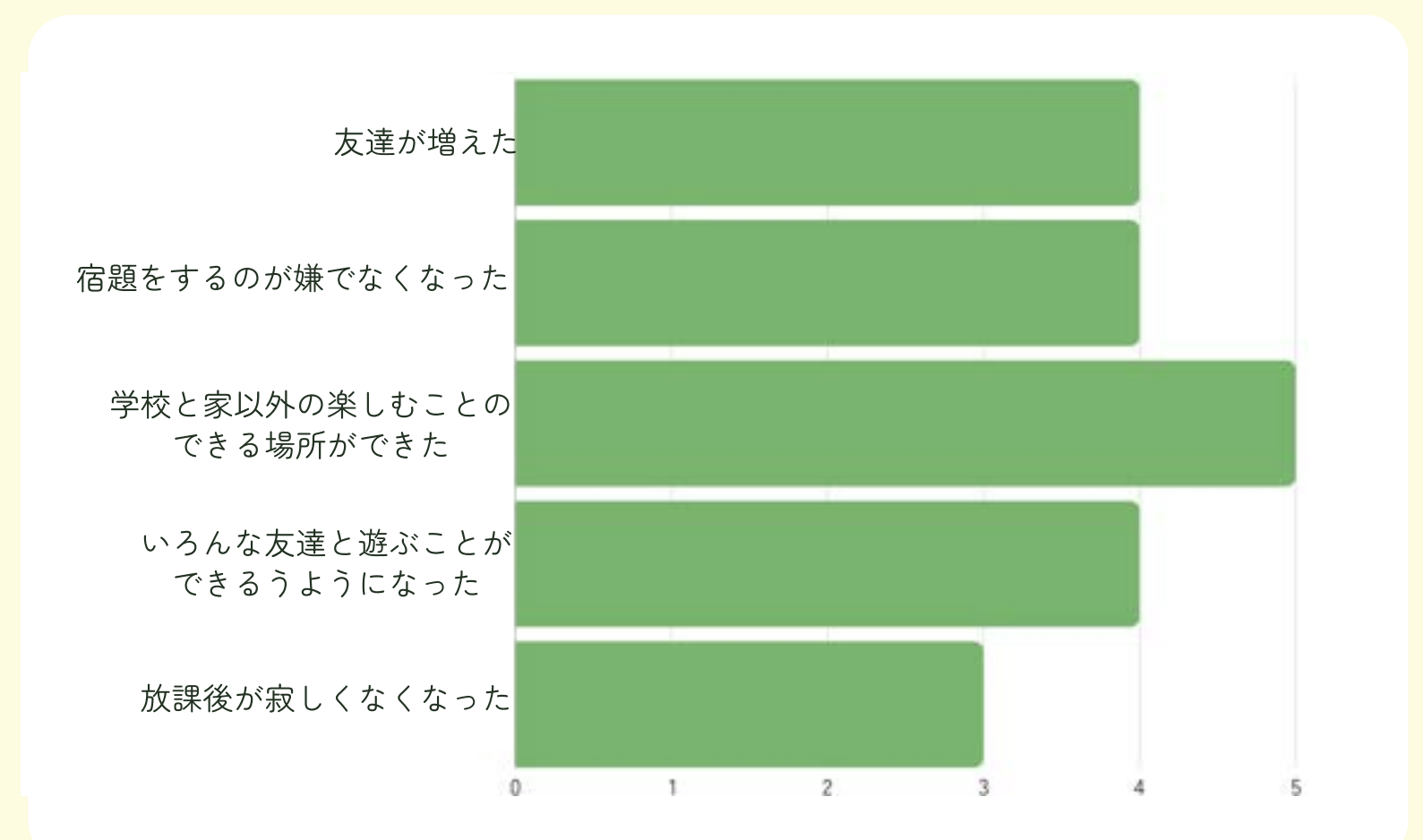
### 地域の皆様のご協力・連携で多様な学び体験を実現



### 子どもたちにとって「ひこうせん」はどんな場所？



### 「ひこうせん」に来たことによる子どもたちの変化



ひこうせんに来る子どもたちアンケート結果より



## 2. サマー こども&ユースフェス

*Our purpose*

10団体協働での富士見全体の幅広いこどもたちの居場所づくり

### 取組の概要・趣旨

こどもの未来をかんがえる会では、地域の他団体と連携して、カフェ&スペースひこうせん以外の場所で、幅広い子どもたち支援の取組を進めている。

”こども支援”という目標のもと10団体がつながり、コレクティブ・インパクトを発揮して地域の福祉と食の循環を実現





## 取組詳細

富士見町更生保護女性会、富士見町栄養士会と協働で2023年7月22日に「サマーこども&ユースフェス」をゆめひろば富士見で開催した。給食がなくなる夏休み前に親子で健康的な食について考えてもらうため、栄養士会提案の高野豆腐を使った手作りのタコライス及び寒天ゼリーを高校生以下は無料、大人300円以上でふるまった。「カゴメ野菜生活ファーム」からトマト、「有限会社トップリバー」からレタスの寄付、地域の方からブルーベリーの提供を受け、地域の新鮮な材料を使った食を提供できた。

また、夏休みを安全に楽しく過ごすための多様なワークショップを開催した。

当日は、180名を超える参加者、約40名の主催者側の参加があり、約220食のタコライスを提供できた。

地域の「食」がつなぎ手となって、「子供支援する」共通の目的のもと、10団体協働により相乗効果を発揮して楽しいイベントを開催することができた。

**サマーこども&ユース フェス**

手作りヘルシーランチ (タコライスと寒天ゼリーを食べに来て！)

タコライス

夏休みを健康&安全&楽しく過ごすための楽しみワークショップ

トップリバーさんより朝取りレタスを提供

日時：2023年7月22日（土）12:00-14:00  
場所：ゆめひろば富士見  
12:00- タコライスランチ  
～こども・中高生無料、おとな300円以上～  
(スプーン・コップ・お皿を持ってくるね。)

カゴメ野菜生活ファーム、八ヶ岳みらい菜園さんよりトマト・ケチャップをご提供

UVレジンやペットボトルなどで好きなアクセサリなど作ってみよう

オーガニック由来のハンドクリームを手作りしてみませんか？

紙でお皿を作ってみよう

自分の身は自分で守る！護身術ワークショップもあるよ

10代の秘密基地づくりのアイデア考えませんか？

誰でも、どこでも楽しく移動乗り物JINLIKI、モバイルエックスの試乗体験もできるよ

ルパンビーがやってくるよ！

フルーツ寒天ゼリー

ルバーブ寒天ゼリー

主催：こどもの未来をかんがえる会  
富士見町更生保護女性会  
協力：富士見町栄養士会、富士見高校3学年普通科総合探求  
富士見高校養蜂部、Misora、トップリバー  
カゴメ野菜生活ファーム、八ヶ岳みらい菜園  
富士見高原リゾート  
後援：富士見町教育委員会

## 取組成果・地域の変化

このイベントを契機に、こどもの未来をかんがえる会への企業等から無償の食材の提供が増えたことから、富士見町社会福祉協議会の冷凍・冷蔵庫を借りて食材を保存し、町内のこども支援団体等提供する無償の食流通の仕組みづくりにつながった

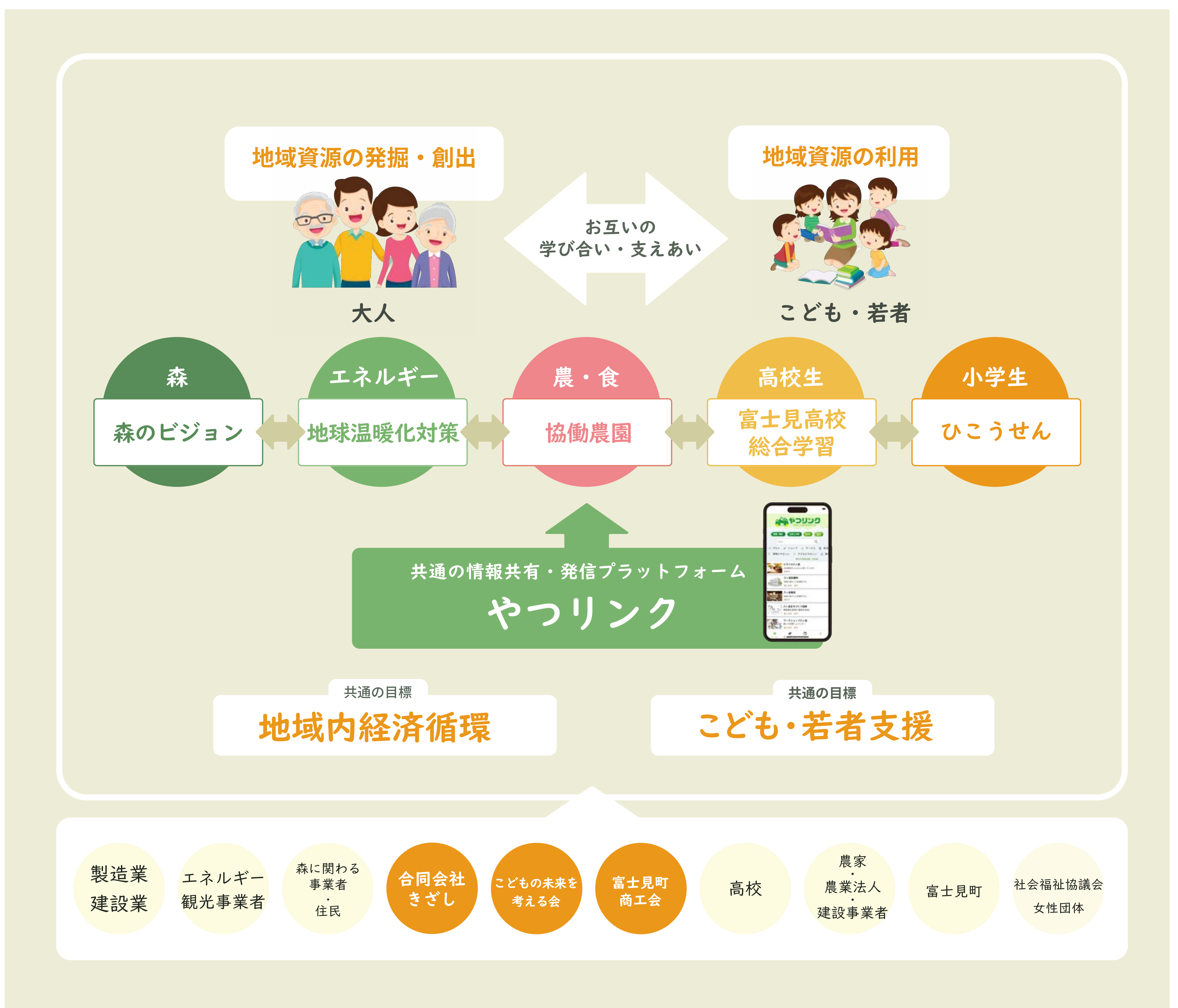
## 5 地域エコシステムづくりへ

### 富士見まちづくりラボが生み出した地域エコシステム

こどもの未来をかんがえる会、合同会社きざし、富士見町商工会の3つの団体が連携し、プロジェクト毎に様々な住民や事業者の方々にメンバーとして参加、協力のもと活動を展開することができた。

持続可能な地域づくりに向けて、こども・若者支援、地域資源を生かした地域内経済循環という共通の目標のもと、セクターを超えた協働と住民の参加により、様々なプロジェクトを生み出す、地域エコシステムにつながった。

この成果を生かして、今後とも持続可能な未来づくりのために活動を発展させていく予定。



本冊子は、富士見まちづくりラボ/こどもの未来をかんがえる会の活動のポイントをとりまとめた。これらの活動の詳細については <https://hikosen.jp> を参照。



FUJIMI TOWN Sustainable Project

## 富士見まちづくりラボ サステイナブルプロジェクト

発行 2024年3月31日

発行元 富士見まちづくりラボ  
<https://hikosen.jp/labo/>

問い合わせ先 [fujimimachi.mirai.lab@gmail.com](mailto:fujimimachi.mirai.lab@gmail.com)

冊子デザイン 片瀬翔子（合同会社AinoDesign）

表紙イラスト 伊藤枝里

本書の収録内容の無断転載・複写・複製等を禁じます。  
本書に書かれている内容は2024年3月までに集められた情報に基づき  
編集しております。著作物、内容についてのお問い合わせは発行元まで  
ご連絡ください。

